小学校 1〜4年 2

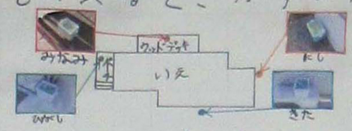
優賞

うきくさが いちばんよく そだつのは？

ひとよしひがししょうが、こう
1ねん おおぞの さら

1. けんきゅうのきっかけ

わたしのいえでメダカをかっているビオトープに、うきくさがたくさんある。なつになると、いつのまにかはっぱのかずがふえているのがふしぎで、おくばしょをかえると、かずのふえかたもかわるのかしりたかったから。



2. けんきゅうのほうほう

① いえの4かしょに、うきくさ(サンシ。ウモ)をちょいずつおく。
(きた・ひがし・にし・みなみ)
※みずのおんどがあがりすぎないように、はっぽうスチロールのようなに、じゅうぶんなみずをいれる。

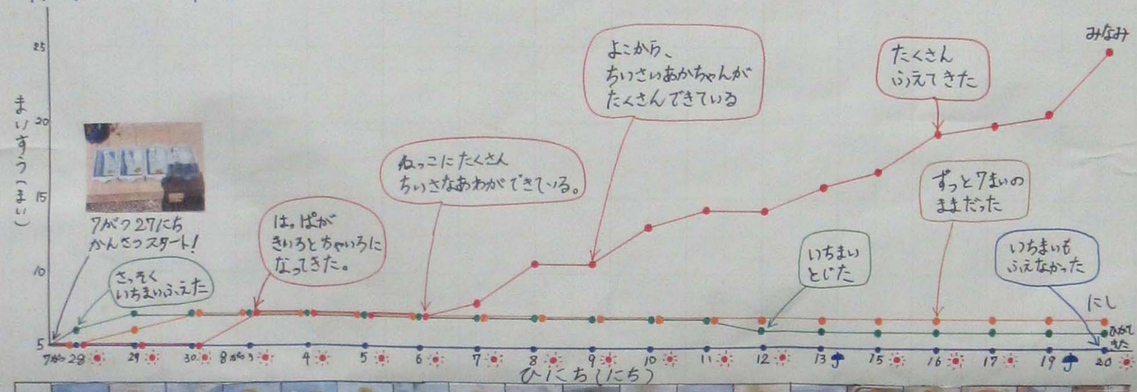
② まいにち、あさとゆうがたにかんさつして、きろくする。
(ひるは、がくどうにいくのでできなかった)
※きろくすること…あさ：てんき、さおん、すいおん(7じ)
ゆうがた：まいすう、すいおん、きづいたこと、しゃしん(5じ)

3. よそう

① みなみがわがいちばんふえるとおもう。
(わけ) いえのビオトープも、みなみがわにあるから。

② いちばんおおくて10まいくらいになるとおもう。
(わけ) 1かげつかんで2ばいにふえるとおもったから。

4. けんきゅうのけっか



	7/29	30	31	8/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17	19	20
きた	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
ひがし	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
みなみ	5	5	5	7	7	7	7	8	11	11	13	14	14	16	17	19	20	21	25		
にし	5	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
30	25	28	32	30	30	33	28	28	29	27	29	31	32	29	28	28	28	28	29		
30	30	29	30	29	30	31	30	30	30	30	30	30	30	28	30	30	29	30			
32	30	31	32	32	31	34	30	30	32	34	32	30	32	30	30	30	29	30			
35	35	39	36	34	35	38	32	34	33	35	35	32	33	36	39	32	30	36			
36	34	32	35	32	34	35	30	32	32	35	34	31	30	27	31	30	27	32			

※そのひのすいおんが、いちばんたかいいろく…あかじ／いちばんひくいいろく…あおじ

きづいたこと

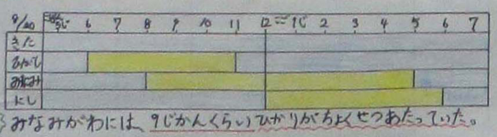
① みなみがわのまいすうが、25まいと大きくふえた。
↳たいようのひかりがよくあたって、あかるいことがおおかった。

② みなみがわのすいおんが、いちばんたかいひがおおかった。
↳たいようのひかりがよくあたって、ようきもあつくなっていた。

かせつ ①たいようのひかりがながくあたると、まいすうがふえる!?
②すいおんがたかくなると、まいすうがふえる!?

ついかじっけん①

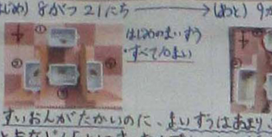
・たいようのひかりがちょくせつあたるじかんをしらべる。



きづき みなみがわには、9じかんくらいひかりがちょくせつあたっていた。

ついかじっけん②

・すべてみなみがわにおいて、しきりでひかりのあたるじかんをかえる。



さつき ②、③、④はすいおんがたかいのに、まいすうはあまりふえなかった。
①は、ほかとおなじくらいのすいおんでも、まいすうが大きくふえた。
↑しきりがなくて、ひかりがたくさんあたったうきくさ

5. けんきゅうでわかったこと

うきくさがいちばんよくそだつのは、みなみがわにおいたときだということがわかった。

ついかじっけんから、みなみがわがよくそだつのは、すいおんではなく、たいようのひかりがよくあたるからだということがわかった。こんどは、ほかのしょくぶつでも、みなみがわがいちばんよくそだつのかしらべたい。